

世界トップレベル研究拠点プログラム(WPI)6拠点合同シンポジウム

# 最先端の科学と君たちの未来

その先の未来を

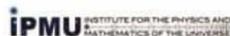
見に行こう・・・

<http://www.wpi2011.org>

参加者の声  
(開催報告書)

2011年11月12日(土) 13:00~18:00  
福岡銀行本店大ホール

九州大学 カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所  
International Institute for Carbon-Neutral Energy Research (I<sup>2</sup>CNER)



# 写真で振り返るWPI6 拠点合同シンポジウム



# 開催概要

## 開催概要

日程：2011年11月12日（土）  
会場：福岡銀行本店大ホール  
主催：九州大学カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所（I<sup>2</sup>CNER）  
共催：東北大学 原子分子材料科学高等研究機構（AIMR）  
東京大学 国際高等研究所 数物連携宇宙研究機構（IPMU）  
京都大学 物質-細胞統合システム拠点（iCeMS）  
大阪大学 免疫学フロンティア研究センター（IFReC）  
物質・材料研究機構 国際ナノアーキテクトニクス研究拠点（MANA）  
後援：文部科学省 日本学術振興会  
山口県教育委員会 福岡県教育委員会  
佐賀県教育委員会 長崎県教育委員会  
熊本県教育委員会 鹿児島県教育委員会  
宮崎県教育委員会 大分県教育委員会  
福岡市教育委員会

## 開催目的

「世界トップレベル研究拠点プログラム（WPI）」は、高いレベルの研究者を中核とした世界トップレベルの研究拠点を形成するため、文部科学省が2007年度より開始した事業です。第一線の研究者が世界から多数集まってくるような、優れた研究環境と極めて高い研究水準を誇る「目に見える研究拠点」の形成を目指しています。2007年度にはWPIプログラムとして5拠点が採択され、2010年度には、九州大学のカーボンニュートラル・エネルギー国際研究所が新たに採択されました。本シンポジウムは、これら6拠点の特色ある研究を九州・山口を中心とした地域の高校生・中学生及び一般の方々にご紹介し、世界最先端の科学に触れていただくとともに、WPIプログラムについて関心をもっていただくことを目的としています。

## 参加者について

- 来場者数： 623名
- アンケート集計： 343名（回答率：55%）
- 職業：



- 性別：



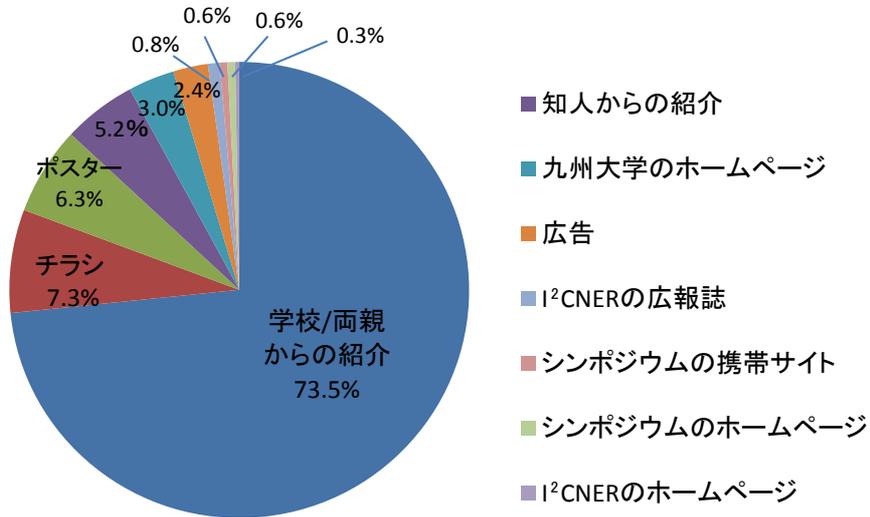
- 世界トップレベル研究拠点プログラム（WPI）について知っていましたか？



# 参加者の声

## ～ シンポジウムについて ～

■ 今回のシンポジウムをどこで知りましたか？



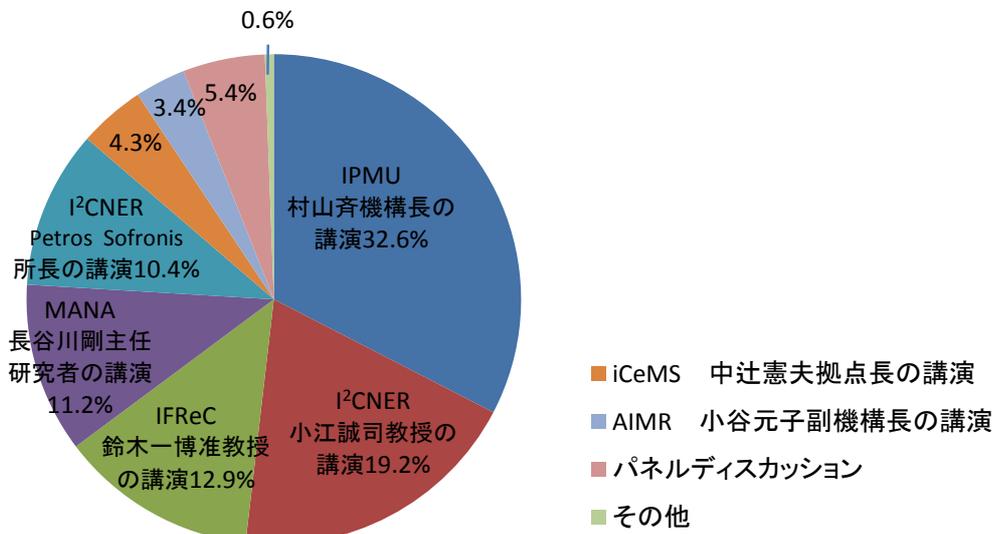
■ 今回のシンポジウムはいかがでしたか？



■ 今回のシンポジウムをきっかけに科学への興味は深まりましたか？



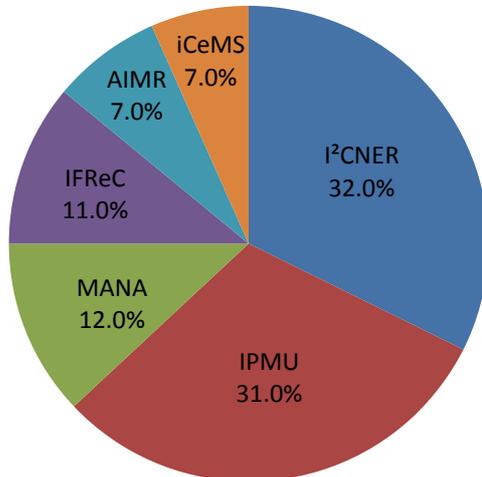
■ 特に興味を持ったプログラムについて教えてください。



## 参加者の声

### ～ シンポジウムについて ～

- 特に面白かったブースについて教えてください。



- どのようなシンポジウムまたはワークショップにご興味がありますか？

- 今回と同じようなシンポジウム
- 中・高校生向けのシンポジウム
- 女性向けのシンポジウム
- 環境・医療・宇宙など、テーマを絞ったシンポジウム

### 感想

- 黒木WPIプログラムディレクターのお話は、WPIがどれくらいの業績をあげているか、具体的で大変分かり易かった。また、ソフロニス所長の息子さんへの熱いメッセージは、15歳の娘を持つ私の心を打ちました。
- とても大きな話題から自分達の身近なことに話がつながっており、科学に対する親近感が湧きました。
- 私は将来、建築関係の職業につきたいと思っています。環境に優しい科学技術についてのお話を伺い、将来その仕事に就くことができれば、多いにその技術を活用し、より住みやすい環境を作りたいと思いました。
- もともと宇宙は原始よりも小さかったなど、宇宙には何があるのかなと想像が膨らんだ。
- パネルディスカッションは高校生の質問が鋭く、非常に面白かった。
- 私は教育現場に立っておりますが、これまで科学がどのように進歩しているか触れる機会がありませんでした。しかし、今回のシンポジウムは、私自身にとっても大変充実したものでした。
- 高校生がこれほど集まった科学のシンポジウムは非常に有意義であり、是非継続していくことを希望します。
- 一つ一つのブース・講演のレベルが高くて面白かったです。科学に対する興味がまた増えました。
- 日本では、原子力発電の事故、東日本大震災の被害などで、環境についてとても敏感になっているため、I<sup>2</sup>CNERの水素エネルギーは、これからもっともっと需要が増えてくると思う。
- 中学生の私でも理解できるような言葉や図、絵、動画などを用いて説明して下さったのでとても分かり易かったです。パネルディスカッションでは、高校生の質問内容が、鋭くて、こんなところも目を付けているんだと驚きました。「研究をしてよかったと思う時」の質問では、ほとんどの先生方が、「自分しか知らないことを見つけた時」と話されていました。そんなときの感覚は言葉にならないぐらい、嬉しいだろうなと思いました。

# 当日のプログラム

世界トップレベル研究拠点プログラム（WPI）6 拠点合同シンポジウム

## ～最先端の科学と君たちの未来～

2011年11月12日（土） 13:00 開演（12:30 開場）  
福岡銀行本店大ホール

### プログラム

- 13:00- **開会の挨拶**  
九州大学 総長 有川 節夫
- 13:05- **WPI の説明**  
WPI プログラムディレクター/日本学術振興会学術システム研究センター  
副所長 黒木 登志夫
- 13:15- 「水素エネルギーを利用した低炭素社会の実現をめざして」  
九州大学（I<sup>2</sup>CNER）所長 Petros Sofronis
- 13:35- 「水素からのエネルギー：生物に学ぶエネルギーのつくり方」  
九州大学（I<sup>2</sup>CNER）主任研究者 教授 小江 誠司
- 13:55- 「夢に形を与える」  
東北大学（AIMR）副機構長 小谷 元子
- 14:15- 「宇宙の暗黒面」  
東京大学（IPMU）機構長 村山 斉
- 14:35- 「多能性幹細胞（ES/iPS細胞）の大きな能力と限らない可能性」  
京都大学（iCeMS）拠点長 中辻 憲夫
- 14:55- 「ライブで見る免疫」  
大阪大学（IFReC）主任研究者 准教授 鈴木 一博
- 15:15- 「逆転の発想でつくる新しいコンピュータ」  
物質・材料研究機構（MANA）主任研究者 長谷川 剛
- 15:35- 休 憩
- 15:50- **パネルディスカッション**  
コーディネーター 枝廣 淳子（環境ジャーナリスト）／各拠点講演者／代表質問者

### ブース展示

13:00-18:00 ブース展示（常時開設）

- ◆ 英語による講演は、逐次通訳を行います。
- ◆ お手洗いは、地下中2階ロビー踊り場にあります。
- ◆ 会場内は禁煙です。また、会場内での飲食及び携帯電話の使用はご遠慮ください。
- ◆ 他の参加者の迷惑になると判断した場合は、係員の指示に従い退出していただきます。

